

平成25年度入学者選抜学力検査問題

専門適性検査

(工学部 デザイン学科)

[午後]

注意事項

1. この冊子は、監督者から解答を始めるよう合図があるまで、開いてはいけません。
2. 机の上には、問題冊子、画用紙、板紙、物品を入れた封筒、募集要項に示された用具、時計、受験票以外のものは置いてはいけません。
3. 画用紙に汚れがある場合、配布された物品に不具合がある場合は、解答を始める前に手をあげて申し出てください。解答に支障があると監督者が判断したときは、新しい物と交換します。
4. 問題冊子に印刷または製本の不具合があったら、手をあげて申し出てください。
5. 監督者から指示があったら、画用紙と板紙の受験番号欄に、受験番号を記入してください。画用紙は横位置に用いて、受験番号欄のない面に解答してください。
6. 問題の解釈についての質問は一切受け付けません。
7. 画用紙と板紙、配布された物品は、解答の有無にかかわらず持ち帰ってはいけません。
8. この冊子は持ち帰ってもかまいません。
9. その他、監督者の指示に従ってください。

問題 V

円と 2 本の曲線を構成要素として、浮遊感を表現しなさい。解答は以下に示す条件を満たし、与えられた画用紙を用いること。

【条件】

1. 画面の大きさは一辺 20cm の正方形とする。
2. 曲線の両端は画面の辺に接している。
3. 円や曲線で分割した領域は異なる色彩で着色する。
4. 円の数や大きさは任意とする。
5. 白にする部分は白色絵の具で着色する。
6. 着色はムラのないようにする。

問題VI

金属板，ストロー，タコ糸を加工して組み合わせ，素材の特性を活かした魅力的な立体を作りなさい。解答は以下に示す条件を満たすこと。

【条件】

1. 立体は板紙からはみ出さない大きさとする。
2. 金属板，ストロー，タコ糸は使いきらなくてもよい。
3. セロハンテープは，金属板，ストロー，タコ糸の接合に使用する。
4. 立体は持ち運んでも簡単には壊れないものとする。
5. 立体は，板紙の受験番号欄のない面に，セロハンテープで固定する。